



ふかさわりけんすけ  
**深澤竜介** 議員  
(政正会)

**富士宮市立病院の医師確保について（特に整形外科医）**

**深澤** 市立病院の整形外科医の現状と今後の見通しは。

**病院長** 現状、整形外科医は浜松医科大学から常勤1人。今後については今現在、まだ白紙状態である。教授は派遣してもいいと考えていても、実際に派遣される医師が地元から遠いために赴任しにくいということがよくある。

**深澤** 須藤市長は、選挙期間中に、「5月になれば整形外科医がやってくる。市民に心配はない。」と発言していたようだが、本当か。

**市長** いい情報をキャッチすれば、少しでも市民に伝えたいから、選挙期間中伝えた。

**深澤** 整形外科の現状は一向に変わっていない。政治はあくまで結果責任だと考える。いい話が100あっても、最終的に決まらなければ、ゼロと同じだ。医師招致に関する発言は相手もあることなので、慎重にお願いしたい。選挙向けのリップサービスであってはならない。

**深澤** 「地域医療を守る市民の会」が設立された。地域医療を守るのは誰と考えるか。

**病院長** 市民の自発的な動きで、「地域医療を守る市民の会」が設立されたことはありがたいが、本来ならば1年前にできていれればと思う。地域医療は、市・行政・市立病院・医師会、そして市民が力を合わせていくべきだと考える。

**深澤** 医師に対して、市内居住手当の提案をするがいかがか。

**病院事務部長** これまで、このような手当の発想がなかったので、他の状況を調べてみたいと思う。



▲地域医療を支えるのは、病院だけでなく行政・医師会・市民すべてが一体となる事が必要



えんどうひであき  
**遠藤英明** 議員  
(無会派)

**少子高齢化時代を迎え、少子化対策、高齢者対策の富士宮市の取り組みを伺う**

**遠藤** 働く女性の社会進出支援、子育て支援の今後の取り組みは。

**保健福祉部長** 子育て支援として、平成27年度から認定こども園・小規模保育所を整備してゼロ歳から2歳の子どもの定員を拡大し、4月からの「子ども・子育て新制度」のもと、放課後児童クラブ等の整備を計画的に進めたい。

**遠藤** 増大する社会保障費の現状とその対策は。

**保健福祉部長** 当市の25年度の医療費は、国民健康保険税の2.8倍であった。増大する医療費の対策として、27年度からジェネリック医薬品差額通知を行う予定。

**遠藤** 高齢者や認知症の増加対策「地域包括ケアシステム」制度をどのように構築するのか。

**保健福祉部長** 認知症、要支援高齢者を地域の自助・互助を活用し、個々のニーズに合ったサービス提供体制を構築し、医療費・介護保険料の抑制につながる効果を期待

する。

**遠藤** 地方創生関連法案、まち・ひと・しごと創生法による「人口ビジョン」「総合戦略」策定の富士宮市の取り組みは。

**企画部長** 国が示す4つの基本目標の取り組みを検討し、策定に当たり、庁内会議・有識者会議を設置予定。27年度中の策定を予定。

**富士根南地区のインフラ整備**

**遠藤** 国道469号整備、橋戸交差点・よろずや交差点の改良は。

**都市整備部長** 国道469号整備は、土地収用法による事業認定の申請手続きを行い、橋戸・よろずや交差点改良は、引き続き用地交渉を行っていく。



▲橋戸交差点改良の様子